

## 8 ポイントは授業構成

### 単元（題材）の「導入・展開・まとめ」

毎時間の授業にも、開始から終了に至る流れはありますが、指導計画は、あくまで単元（題材）全体を見通して立てるものです。

「導入・展開・まとめ」を1単位時間の授業で考えるのではなく、学習活動のまとまりごとに設定するものと考えないと良いでしょう。

ただし、はじめにどのような活動をして意欲を喚起しようか、中心となる学習活動は何か、次の時間にどうつなげるかといった1単位時間の授業の構想は必要です。

### 1 単位時間の構成

1単位時間の授業は、「指導と評価の計画」（2章－4）の中に位置付けられたものです。目標の実現のために、観点別の評価規準を配置して本時の学習の構想を練ります。

1単位時間の授業内容は、ほかの授業内容とつながっています。各時間の授業の位置付けを確認し、どうしたら効果的に生徒が目標を実現できるかを考えながら、それぞれの授業の構成を考える必要があります。



### 授業構想の四つのポイント

次の要点に沿って1単位時間の流れを構成しましょう。

- ★ 本時で身に付けさせたい力の確認
- ★ 評価の場面と方法を想定
- ★ 生徒が主体的に活動に取り組むための工夫
- ★ 時間配分と山場づくり

#### 学習集団にマッチした授業構成を！

個別支援が必要な生徒への対応を考えよう

話すことが苦手、聞くことが苦手、書くことが苦手、話合いが苦手…どの学級にも特性のある生徒がいます。生徒の特性を把握し、各学級に合った授業構成を考えることが大切です。みんなが授業に参加したい、理解できるようになりたいという気持ちをもっています。

「指導と評価の計画」の中に、「書くことが苦手な生徒には、机間指導の中で書きたい内容に気付かせる」「聞くことが苦手な生徒がいるので発問の内容は板書する」など、生徒に応じた配慮事項を書き加えられるとさらに良いですね。

## 〈例〉商業 簿記「決算 財務諸表の作成」

### 《単元の目標》

- ・決算に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適正な財務諸表の作成について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする。

### 《本時のねらい》（第4時）

- ・作成した財務諸表における課題について他者の考えと比較し、多様な視点を基に自らの考えを表現する。
- ・財務諸表作成について自ら学び、適正な財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む。

### 《本時の流れ》（50分授業）

時間	学習活動	評価規準・評価方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算の流れと財務諸表の意義や内容を貸借対照表と損益計算書の勘定科目を基に再確認する。</li> </ul>	
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・架空の店舗の精算表を基に、貸借対照表と損益計算書を作成する。</li> </ul>	
	<p style="text-align: center;"><b>あなたなら財務諸表を基にどのような経営改善案を提案しますか？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・架空の店舗の財務諸表を基に経営活動の改善案を考察する。               <ol style="list-style-type: none"> <li>①改善案を貸借対照表から考察し、ワークシートに記入する。（個人）</li> <li>②記入したワークシートを基に、グループで改善案を作成する。</li> </ol> </li> <li>・他者の改善案を聞き、自らの考えに生じた変化をワークシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善案が浮かばなさそうな場合は、貸借対照表が店舗の財政状態を表し、損益計算書が店舗の経営成績を表していることを思い起こさせ、着眼点を考えさせる。</li> <li>・記入にあたっては、自らの着眼点と他者の着眼点を比較させ、新たな視点や</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【思考・判断・表現】</b> 作成した財務諸表における課題について他者の考えと比較し、多様な視点から考えを表現している。 評価方法:ワークシート</p>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善案を基に決算のもたらす意義を改めて考察し、ワークシートに記入する。</li> </ul>	

・「単元の目標」や「本時のねらい」を明確にする。  
→「何のために、何をするか」を生徒に明示する。

・「展開」に当たる活動は、本時のゴール（まとめ）につながるように設計する。  
この例では、

展開 「考え」をもつ  
「考え」を広げ深める  
まとめ 「考え」を整理する

という流れを意識して、授業が計画されている。

「令和3年度 高等学校教育課程研究会研究報告 第1集 商業」神奈川県立総合教育センター より（一部改編）

## 50分授業以外の授業構成 （例）90分授業の場合

90分間、生徒の興味や関心、集中力などを持続させるのは難しいものです。そこで、授業の構成の工夫が必要になります。例えば、「書く」「話し合う」「読む」といった活動を効果的に取り入れます。その際には、それぞれの活動が生徒の学びの深まりにつながるものとなるよう心掛けましょう。

また、90分という時間をいかし、じっくりと考えさせたり、十分協議させたりすることができます。そのための資料の準備や展開の工夫などを考えることも大切です。